

国立科学博物館 産業技術史講座

自動車車体の生産と変遷

バンやダンプ等トラックと総称される商用車の車体（荷台、作業装置部）は積載物や用途に応じて各種生産されている。これらの車体は自動車メーカー以外の専門メーカーで生産されるものが多く、我国への自動車導入期から車体メーカーで開発・生産が行われてきた。

車体メーカーで生産される車体について、前半では車体全体の生産状況や変遷を、また後半ではダンプやタンクローリに代表される特装車の構造や開発発展の経緯を述べる。

日 時：平成 23 年 3 月 12 日（土） 14 時 00 分～16 時 00 分（開場 13：30）

会 場：国立科学博物館（上野） 地球館 3 階講義室

講 師：山口 節治（前・産業技術史資料情報センター・主任調査員）

募 集：40 名（高校生以上一般向）

入館にあたり、通常入館料

一般・大学生 600 円。

高校生・満 65 歳以上の方は無料（年齢が分かる証明書等を提示）

が必要です。

申込方法：往復はがき、もしくは、下記ウェブサイトから

平成 23 年 2 月 19 日締切（消印有効）

国立科学博物館 学習企画・調整課 学習支援事業担当

住所：〒110-8718 台東区上野公園 7-20

電話：03-5814-9888

申込ウェブサイト：<http://sts.kahaku.go.jp/diversity/lecture/index.php>

往復はがきの場合(1)3月12日：産業技術史講座、(2)参加者氏名、(3)住所（返信用にも）、(4)電話番号、(5)年齢、(6)職業又は学年、を記入。応募者多数の場合は抽選。グループで参加希望の場合は、参加者全員の氏名・年齢を記入。

関連ホームページ 「国立科学博物館—産業技術史資料情報センター—」

<http://sts.kahaku.go.jp/>